



五中だより

人のせいに
しない自分

第4号

令和2年6月1日

調布市立第五中学校

「Never too late！」

校長 生田目 将

生徒の皆さん、保護者の皆様、3月からの長い3か月間の臨時休校へのご理解、そして様々のご協力に対しまして、改めまして感謝申し上げます。五中では焦らず丁寧に子どもたちが充実した残りの10か月間を過ごせるように教育活動を進めてまいります。

さて、「Never too late！」は私が大好きなプロバスケットボールプレーヤーで日本人初のNBAに所属した田臥勇太選手が発したことを記憶しています。日本語にすると、「決して遅すぎることはない」「今からでも遅くない」という意味でしょうか。彼は、中学校時代、中三で全国3位となり、漫画の〇〇工業のモデルと言われる、能代工業で3年連続三冠の偉業を達成した時のメンバーです。以前、彼が出演したCMで使われた、彼のコメントを以下に紹介します。

『何回も能代弁で叱られ、何回も英語でも怒鳴られ、そのうちの何回かは理解できなかったけれど、何回も小さいから無理だと言われ、何回も大男が落ちてきてケガをし、何日も眠れない夜を過ごし、何回も人の言う事に耳を塞ぎ、何回も逃げ出そうと思った。けれど、何万回もパスをし、何万キロもドリブルして、何万回も相手をフェイクし、何万回も速攻を出し、何万本もシュートを打って、何十足もバッシュを履きつぶし、僕はアメリカのコートに立った。でも、僕の旅は終わりじゃない。これは始まり、旅の途中。残りの人生の最初の日だ。』

今季も宇都宮ブルックスでプレーすることが決まっている彼は、昨シーズンに故障し静かにリハビリに励みながら、そして「シーズンが待っていますから」とコメントを発表している。まさに、Never too late! Never give up! の精神が似合う。

緊急事態宣言・臨時休校など、今まででは考えられない状況の中で学校再開を迎えることができた今、元気をもらえるコメントとして紹介しました。

これからの学校生活はみんながつくっていきます。前向きに・声を掛け合い・助け合い、優しい気持ちで楽しく過ごせる五中にしていきましょう。

【新しい学校生活様式】

感染のリスクが続く中で学校の再開後の生活をより良くしていくために！

- 検温・健康観察表の持参する
- マスクの着用する
- 手洗いをこまめにする
- 手洗い後に使用するハンカチ・タオルを持参する
- うがいをする
- 風邪症状等の際は自宅で休養する
- 密接・密集・密閉は避ける
- 助け合う
- 優しい言葉の掛け合う
- 自分を大切にする
- 他者を理解する

※その他に、生徒の皆さんのほうが思いつくことがたくさんあると思います。

【地域・卒業生の保護者より】今回の長期の臨時休校における、複数の励ましの声とお手紙、感染予防物資等をいただいております。改めて地域に支えられる五中を実感しております。感謝申し上げます。

6月の行事予定

		行事				
1	月	分散登校開始	ふれあい月間始	16	火	特別時間割 クラス写真撮影 部活ガイダンス
2	火			17	水	職員会議
3	水		午前登校グループは弁当給食	18	木	仮入部期間始
4	木			19	金	あいさつ運動終
5	金			20	土	授業日(お弁当・6時間授業)
6	土			21	日	
7	日			22	月	学年朝礼 安全指導 3年生保護者会(含む評価説明会・進路説明会)
8	月			23	火	専門委員会
9	火			24	水	学年会
10	水			25	木	中央委員会
11	木			26	金	2年生保護者会(含む評価説明会)
12	金	分散登校終		27	土	
13	土			28	日	
14	日			29	月	1年生保護者会(含む評価説明会)
15	月	特別時間割・あいさつ運動始	新入生歓迎会(映像)	30	火	ふれあい月間終 仮入部期間終

☆6月の学校のスタートとなりますので大切な4, 5月分も確認していきます。

□■ 4月の生徒指導の重点 ■□

「基本的な生活習慣を確立して秩序ある学校を目指す。」

- 1 時間を大切にす。
- 2 規則を守り、マナーを向上させる。
- 3 時と場に応じた丁寧なあいさつを行い、気持ちよい学校生活を送る。

□■ 5月の生徒指導の重点 ■□

「すべての生徒に居場所がある笑顔のあふれた学校を目指す。」

- 1 学級での「居場所作り」を行う。
- 2 思いやりの心を育てる。
- 3 教育相談の充実を図る。

★☆☆いじめ相談窓口があります☆☆

どんなことでも相談をしてください！

(窓口担当：細川先生、重盛先生)

□■ 6月の生徒指導の重点 ■□

「学習意欲を向上させ、学習に真剣に取り組む学校を目指す。」

- 1 学習の「目標」を明確にする。
- 2 どの授業にも真剣に取り組む。
- 3 苦手な教科や、補充が必要な学習に主体的に取り組む。
- 4 家庭学習(予習・復習)を定着させる。



〈学校住所・電話番号〉

〒182-0035 調布市上石原3丁目27番地1

電話 042(484)1311

ホームページ URL

<https://www.chofu-schools.jp/chofu5/index.html#>

